

### 請願の趣旨

市内での定期路線バス運行を実現する協議会が地域住民の生活維持のための路線バスの運行について、市から援助を求める請願である。

バス事業者が市東部地域で路線バス運行を行うに当たり、不足する経費について市の補助をお願いするものである。

【請願者】市内での定期路線バス運行を実現する協議会 代表 稲橋重夫 他804名



※実証実験の際の写真

**問** 利用者の見込み、また、運賃収入と積算根拠を聞きたい。

**答** 世帯毎にアンケートを実施し、4000円の定期券・回数券を買うという方が165人いた。1回の運賃は200円である。バス1台の運行に、1日3万円の経費がかかり、毎月約100万円の運行経費を計画している。採算ラインは1便当たり10人～13人の利用と考えている。

**問** 協議会の総会ではどのような話があったのか。また、協議会組織について、規約、予算、役員が定められていると考えるが、規定されているのか。

**答** 総会では、意見交換、バス運行の実証実験の説明と打合せ、アンケートや請願についての協議をした。また、規約があり、役員も定めている。予算は寄付で賄<sup>まかな</sup>っている。

**問** 市内の公共交通の充実は全市民の願いであり、どのように進めていくのか手順が大切であると考えているが、どのように考えているのか。

**答** 市の事業で、市の手順を踏むと効率が悪くなり、採算が取れないバスになると考える。だからこそ、地域の民間主体で出来る限り小さい路線から始めていくということでスピード感をもって行っている。

**問** 認可を受ける事業者はどこになるのか。また、事業者は路線バスのノウハウがあるのか。

**答** 事業者は丸建つばさ交通株式会社である。蓮田市では「けんちゃんバス」として路線バスを運行しており、他の市町でもバスを運行している。

**問** 計画では運行が菁莪地域のみとなっている。市税を投入するには市全体の公平性が必要になるが、どのように考えているのか。

**答** 市全体に範囲を広くすると収入を経費が上回り、赤字が増える。今回は採算が合いそうな場所に路線を絞っているが、成功したら拡大していきたい。

●● 結果は **採択** ●●

